

「ひっとプラン港北」新羽地区計画推進委員会
第1回全体会まとめ

◆開催日時

2022年8月27日（土曜日） 14:00~16:30

◆開催場所

新羽ケアプラザ4階

◆参加者（以下敬称略）8月27日現在名簿順

【委員長】

新羽町連合町内会長 尾出清和

【健康づくり部会】

新羽町南町内会長 浅倉克彦

北新羽町内会長 大森洋一（欠席）

大竹町内会長 飯島由美子

北新羽町内会副会長 秋元重雄

新羽町南町内会 中村光子

新羽町町内会 大谷トシ子（欠席）

新羽町自治会 下村留吉

新羽町南町内会 古川久雄

新羽地区ケアプラザ生活支援コーディネータ 大田由香

新羽地域ケアプラザ保健師 小笹優美

港北区高齢障害支援課高齢者支援担当 小林梨恵

港北区保険課健康づくり係 新里穂久斗

【情報発信部会】

クリオ新横浜自治会長 高橋晴美

新羽町内会副会長 富樫祐彰

新羽町町内会会長 小林省吾（欠席）

新羽町町内会副会長 高橋良昌

新羽町町内会スポーツ推進員 関原政仁

新羽町町内会 山本典子

新羽町町内会 長瀬理恵（欠席）

新羽町町内会 広野貴士（欠席）

新羽地区スポーツ推進委員代表 小松賢吉

新羽地域ケアプラザ所長 水村志津子

新羽地域ケアプラザ社会福祉士 村井佳弥乃

港北区福祉保健課事業企画担当 杉村博幸

【住民交流部会】

新羽町自治会長 磯部秀夫

前中之久保町内会長 小山定雄（欠席）

北新羽町内会民生委員児童委員 吉田恵三

新羽地区青少年指導員代表 豊岡 修（欠席）

中之久保町内会民生委員児童委員 鈴木京子（欠席）

南町内会民生委員児童委員 山崎智子（欠席）

南町内会副会長 渡部隆夫（欠席）

前北新羽町内会副会長 西山正男（欠席）

新羽中学校地域連携コーディネータ 奥山 豊（欠席）

中之久保町内会長 齊藤貞弘

港北区社会福祉協議会 大澤有希（欠席）

港北区社会福祉協議会 牧野大樹

新羽地域ケアプラザ地域活動コーディネータ 村井田優子

港北区総務課長 野村絹江

港北区福祉保健課 担当係長 渡部良太郎

港北区生活支援課生活支援係 越山詢子

港北区生活支援課生活支援係 長谷川綾香（欠席）

港北区高齢・障害支援課障害者支援担当 三井友里恵（欠席）

港北区こども家庭支援課こども家庭支援担当 和田麻衣（欠席）

◆資料

【司会 港北区福祉保健課事業企画担当 杉村博幸】

資料の確認

- 1 次第
- 2 「ひっとプラン港北」新羽地区計画推進委員会名簿
- 3 ひっとプラン港北（概要版）
- 4 新羽地区計画令和3年から令和7年度のもの
- 5 新羽町の情報発信

以下追加資料

- 6 各町内会行事（イベント）一覧
- 7 新田緑道 みちあそび企画書（後日配布）

◆課題・確認

- 1 各部会の活動が全体で共有できていない。全体で共有できる仕組みが必要
 - 2 ひっとプランを紹介するチラシや公開されているインターネットコンテンツの内容、表現が統一されていない。部会の名称も情報部会と情報発信部会がある。
 - 3 第4期では、副部会長、事務局、会計などの役割が任命され、分担して部会の運営が行われているが、より円滑に役割を担えるよう、フォローできる仕組みが必要。また、より効果的に活動するために、委員一人一人の役割分担を進める必要がある。一方で、全体、委員会の円滑な運営のために必要な役割が明確になっていない。
 - 4 組織及び活動全体を見渡し、俯瞰できる委員（役割）が必要
- ※考察：全体の運営はそれなりの負担と責任が伴う。地域の委員が務めるのであれば、専任として、副委員長、統括などの役を創設したほうが委員長をフォローしやすい。また、杉村氏ほか行政担当者の発言から、こういった支援やフォローは行政が担う役割であるとも解釈できる。組織全体の運営、委員長の後方支援という重要な役割を誰がどのように担うか、明確にする必要がある。
- 5 区役所担当者の異動に伴う引継ぎが不十分。また、地域の担当者と積極的にコミュニケーションをとろうという姿勢がなく、地域計画推進の活動状況、問題点、課題について行政はほとんど把握していない。そのため、効果的なフォローができず、第3期から第4期への引継ぎも不十分。行政との密接なコミュニケーションの仕組みが必要。

【尾出委員長 挨拶】

<経緯等報告>

- ・第四期は令和7年までの活動。
- ・第四期は連合町内会長、副会長、新羽地区社会福祉協議会会長も変わって新たなスタート。
- ・コロナ禍で第3期の反省会ができないなかで活動報告をまとめていただいたことに謝辞。
- ・第4期も昨年4月にスタートができなかったが、本日スタートできたことに謝辞。
- ・第3期までは5つの部会があったが、第4期は集約して三つの部会にした。
- ・「ひっとプラン港北 新羽地区ニュース」「第4期港北区地域保健計画（ひっとプラン）『和・輪・話』のまちにっば」を発行して地域への周知を図った。

<課題>

- ・第三期の活動も含めて、各部会の活動が全体で共有できていない。
- ・ひっとプランが地域住民の皆さんに周知されいない。周知する方法を検討する必要がある。
- ・委員会委員はひっとプラン三つの柱（趣旨）に同意されている方、各取組に精通されている方、さらに、組織として全体が見渡せる、俯瞰できる方が必要。
- ・情報発信部会では、このような委員会が開催されること、また、何が議論され、どのような活動をしているかなどをICTを活用して適宜情報発信していただきたい。そのためには、各部会からの情報提供がなければできないので、ご協力いただきたい。全員で共有できる仕組みを作ってほしい。

【野村総務課長 挨拶】

- ・第4期ひっとプラン港北の推進に向けた一回目の全体会を開催することができ、皆さんとお会いできる機会、ご挨拶をさせていただく機会を設けていただきとても嬉しく思っている。
- ・新型コロナウイルスの影響で地域活動が難しい状況の中で、身近な地域の皆様方の繋がりや支え合いというのがますます重要なものとなっている。
- ・新羽地区は「和・輪・話のまちにっば」を合言葉に、顔の見える関係性大事にしながら、これまで以上に地域のつながりを深めて、明るく安心できる町づくりを目標として取組みを進めていくと聞いている。
- ・ひっとプランを推進するにあたって委員及び各団体の連携、笑顔で明るく楽しく取組みを推進して行くことがとても重要。
- ・引き続き、新型コロナウイルスの感染対策を行ないながら、ここにお集まりの皆様と一緒に、区役所の職員も第4期ひっとプラン新羽地区計画の推進に向けて一緒に取り組む。

◆港北区福祉保健計画「ひっとプラン港北」について説明

<港北区役所福祉保健課担当係長 渡部氏>

- ・自己紹介及び区役所におけるコロナ対策の状況について報告。
- ・人が集まって地域活動ができない中で、日常を取り戻していくために、昨年度からの5カ年計画である第4期ひっとプラン港北新羽地区推進委員会の初会合であり、三部会でのスタートアップという本日を機会に推進していく。

<ひっとプラン港北の説明 事業企画担当 杉村氏>

- ・第4期の計画は、令和3年度から7年度末まで。
- ・港北区は13地区、13個の地区計画がある。
- ・新羽地区の第4期は3部会。
- ・委員会委員名簿で地域の委員は氏名横に番号が振られている。
- ・番号の振ってない氏名は、ケアプラザ、区社協、区役所のサポート職員。
- ・地域の皆様が各部会に分かれて活動される時に、区役所、ケアプラザ、社協のメンバーはサポートスタッフとして、相談ごと、困りごとがあれば応援する。
- ・一番下のサポートスタッフは、ほかの部会に参加したり交渉したりする。
- ・ひっとプラン港北の計画と地区計画は常に連動しそれぞれが独立したものではない。
- ・ひっとプラン港北は、三つの柱があり、愛称の「ひっとプラン」の由来でもある。
- ・「理解と参加のひろがりによる地域づくり」参加が広がるので「ひ」。「人のつながりで進める安心なまちづくり」で活動がつながるので「つ」。「支援がとどく仕組みづくり」の支援の届く「と」、この三つの柱の頭文字をとって「ひっと」と名付けら第二期から使われている。それ以外に、「ひっと」という愛称の中から、コツコツとヒットを積み重ねていくことで、確実に計画が繋がり進んでいくという願いも込められている。

- ・何をしたらいいのか、福祉とは「人の幸せ」、保健は「健康的な」という意味があるので、地域の方たちが「幸せで健康的になれること」であれば、どのような活動でも当てはまる。
- ・地域には地域の問題があるので、どれをやらなければいけない、どれをやってはいけないということは特にない。
- ・地域ごとの課題、地域ごとの目標を持って、地域の皆さんが主役になってご活躍いただくためにサポートスタッフも一緒に活動を支援させていただく。5年間よろしく願いいたします。

◆クイズラリーについて報告 住民交流部会 磯部部会長より

- ・この新羽のことを知ってもらうために、子どもたちとどんな事ができるか検討し、ひとつの試みとして、クイズラリーをやったら面白いのではという意見があったので、去年の11月に第1回目、今年7月に第2回目を実施した青葉台クイズラリーについて情報収集した。
- ・学校、郵便局、コンビニなどにクイズを掲示して、クイズを回答しながら青葉地域の中を回することで、地域を探求し、知っていただくことを目的として実施された。
- ・クイズはそれほど難しいものではなく、郵便局ならば郵便局、学校なら学校にまつわるクイズが出題されており、東急電車では、この車両の形は何？、7000系だとか6000系といったクイズが主題されていた。地域を知ってもらおうということがクイズラリーの趣旨なので、あまり難しい問題ではない。10問出題されて、一定数の正解があれば参加賞を貰うことができる。
- ・参加賞は、第1回は青葉区役所から提供してもらい、二回目は自分たちでメール等で企業に働きかけて調達したとのこと。
- ・一日で回る必要はなく、一定の期間を設けていた。したがって、一日一箇所でも二箇所でも自分の都合がつくときに数日かけてラリーに参加できるようになっていた。また、一人ではなく親子、友達と一緒に複数人でラリーを回ることもできる。
- ・新羽では、来年の5月頃を目標に、三つの部会で一緒に企画検討、審議して実行委員会を組織し実行委員長の下で実施することができればと考えている。

◆令和3年度の活動内容振り返り 令和4年度活動計画の検討・発表

杉村氏より、初めて委員を務めている方、そして、自身も含めて本年度から初めて、こちらにお邪魔しているので、3年度どんな活動していたのかわかっていない。部会ごとに、定期的な活動をやっているのであれば、そういったことも含めて、情報を共有していただきたい。との要望あり。

◆健康づくり部会

1 令和3年度の振り返り

- ・取り組みは身体と精神面の2つを活動の柱とした。
- ・大新羽音頭は多方面に踊り方を教えていたが、行事開催中止が多く活動ができなかった。

- ・ポールウォーキングは予定通りの活動ができた。
- ・歌の会は年2回実施できた。
- ・菜園での栽培と収穫体験は2か所で実施予定だったが、コロナの影響で一か所となった。
- ・南地区と北地区と分けてやる予定だったが、でしたが、南地区でのみ実施している。
- ・6年目となるポールウォーキングは、15名くらいから始めたが、年配の方が多いので、参加者が減って可能性はあるが、若い方も参加されている。
- ・若年層でも普段はあまり歩いていないという情報もあり、多くの人に知っていただくためにチラシを部会で作成し、各町会で回覧していただいて若い方も含めて参加者募りたい。なお、新羽地区だけではなくて、近隣地区からの参加者も多い。

2 令和4年度の活動

- ・委員を増強し活動の幅を広げる。
- ・気軽に楽しむことができるグラウンドゴルフを活動に追加して、より気軽にたくさんの方に参加いただきたいと考えている。チラシなど作成してPRに努める。
- ・菜園の場所については、既存の農地も含めて情報収集している。
- ・精神面の活動である、誰でも楽しめる大竹歌の会、レコード鑑賞は今後も継続する。
- ・大新羽音頭は有志で活動している。コロナ禍で地域行事が開催されずほとんど活動できない状況だが、元気塾で活動することができた。
- ・大新羽音頭は、10月の研究会に人を増やして参加したい。そのために早めに情報を各町会にお伝えするので、参加者について各町会のご協力をお願いしたい。
- ・クイズラリーは下村さんと古川さんに実行委員会に入っていただく。

◆情報発信部会

1 メンバー紹介

委員1名追加で9人。

2 令和3年度の活動

- ・情報部会は、昨年連合町内会会議で富樫さんより新羽町内会とクリ北自治会で協力して部会を編成する提案があり、新羽町町内会とクリ北自治会のメンバーで3年度は活動した。
- ・4月に区役所で新規ホームページ構築のプレゼンを行い、助成金をいただくことができた。

3 令和4年度の活動

- ・現行の新羽町ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックも活用しながら、補助金を活用して新しいホームページを構築する。
- ・町内会に加入している世帯だけでなく、すべての新羽町に住む皆さん、北新横浜1丁目、北新横浜2丁目に住む皆さんにも役立つ情報を発信していきたい。
- ・今後の情報発信については、新しいホームページを制作する矢野さんも含めて検討していく。

- ・情報を発信するためには、各部会からの情報提供が活動を知らなくてはならないので、情報提供をお願いしたい。情報を提供していただくことで、委員会全体で情報を共有することができるので、そういった役割も担っていく。
- ・クイズラリーの件は、実施する方向で協力する。

◆住民交流部会（磯部部会長修正）

1 令和3年度振り返り

- ・去年はほとんど活動できなかった。
- ・講師を招いて3時間程度写真を撮影するふれあい写真撮影会を実施した。後日、その品評会、勉強会を実施。参加者は十数名。
- ・男の料理（教室）は、お寿司、イタリアン、日本料理、フランス料理を計画していたが、最後のフランス料理は実施できなかった。

2 令和4年度取組

- ・新羽地区でクイズラリーを実施したい。皆様のご協力をお願いしたい。
- ・緑道公園の改良工事がはじまっている。これまでたくさんの子供たちが利用し、たくさんの方の散策路として利用してきたので、その感謝の気持ちを込めて大人と子供たちが一緒になって遊んだり、既存の建物に自由に落書きしたりするイベントを実施したい。（新田緑道みちあそび企画書 参照）
- ・誰がどのような遊びを担当するかということについて概ね計画はできているが、ベーゴマを教えてくれる人が見つかっていないので、ご存じの方がいらっしゃれば紹介していただきたい。
- ・新田緑道みちあそびもご賛同いただければ、三部会合同で実施したい。12月の予定。
⇒後日、日程については遅れる可能性があるとの報告。
- ・各町会で実施しているイベントについて資料にまとめてみたので、活用していただきたい。

（記録作成・文責：小松賢吉）